

2026年3月の生産・出荷実績に関する石油化学工業協会コメント

令和8年4月23日

石油化学産業においては、原料となるナフサ及び川中製品の在庫と併せて、少なくとも化学品全体の国内需要4ヶ月分は引き続き確保されている。現在、会員会社においては、中東以外からのナフサ輸入量の増加に取り組んでおり、さらなる供給継続に全力を尽くしている。

3月の生産・出荷実績は、中東情勢の影響のほかナフサ分解炉等における定修の集中もあり、生産量は減産となったが、ナフサ等の原料調達に取り組みつつ、国内出荷においてはポリエチレンやポリプロピレンといった主要石油化学製品では前月比増、前年同月比では需要動向の変化もあり製品毎に差は見られるが、全体として供給は維持できている。

在庫の状況についても、ポリエチレンやポリプロピレンといった主要石油化学製品では国内需要の3カ月以上の水準を維持しており、直ちに供給困難となる状況ではないと認識している。

また、会員会社による継続的なペルシャ湾以外の地域からのナフサの代替調達の確保により、4月以降の調達も進んできていると認識している。さらには国産ナフサの確保の観点から、備蓄原油の放出による影響緩和も期待される場所である。

当協会としては、引き続き、国及び会員企業と密接に連携しつつ関連情報収集や必要な措置の徹底など安定供給に必要な対応を行っていくこととしている。

最後に、当協会としては、事態が一刻も早く収束し、ペルシャ湾地域における船舶の安全航行が回復することを強く求めるものである。

【本件に関するお問合せ】

石油化学工業協会

志村、武井 TEL 03-3297-2019

2026年3月実績概要(メモ)

(2026.4.23)

定修の集中に原料面での制約も合わさり、生産は多くが減産となったが、安定供給が可能な在庫レベルを維持しながら原料調達に取り組みつつ、全体としては供給を維持している。

1. 生産動向

イ) エチレン 272,600トン

前月比 ▲18.4% (▲61,500トン)
前年同月比 ▲38.8% (▲173,100トン)

生産増減に係る諸要因	<前月比>	<前年同月比>
日数増減	+10.7%	-
定修要因等	▲16.4%	▲30.1%
能力増減	-	-
稼働率変動	▲12.7%	▲8.7%
生産増減率	▲18.4%	▲38.8%

稼働プラントの実質稼働率試算：前月75.7% → 当月68.6% ← 前年同月75.1%

定修プラント：前月2社2プラント → 当月4社4プラント ← 前年同月なし

令和7年度(会計年度)エチレン生産量4,859.7千ト、前年度比▲2.2%

ロ) 主な石油化学製品

前月比は、日数増があるものの、定修規模差やオレフィン供給減に伴う稼働率要因もあり、LDPE、HDPE、PP、塩ビ樹脂、塩ビモノマー、SBR、ベンゼン、トルエン、キシレンなどの14品目がマイナス。SM、EG、BRの3品目のみはプラスとなった。

前年比も同様に、稼働率要因や定修規模差等から、LDPE、HDPE、PP、PS、SM、塩ビ樹脂、塩ビモノマー、MMAモノマー、EO、EG、SBR、BR、ベンゼン、トルエン、キシレンなどの17品目全てがマイナスとなった。

2. 樹脂の生産・出荷状況(LDPE、HDPE、PP、PS)

イ) 生産

前月比は、日数の増加に対し、定修規模差や稼働率要因から、LDPE、HDPE、PP、PSの4樹脂でマイナスとなった。

前年比も同様に、定修規模差や稼働率要因等から4樹脂ともにマイナスとなった。

ロ) 国内出荷

消費のマインドとしては、暮らし向きや雇用環境、耐久消費財の購入の面で前月に比べて弱含みが見られている。他方、国内の生産活動自体は、3月時点の予測では電子部品・デバイス、電気・情報通信機械では上昇が見られており、トレンドとしても弱気と見る動きが薄らぎつつある。

汎用樹脂の出荷は、前月比は、ユーザー側の稼働日数の増加に加えて、先行きの原料情勢の不透明感も加わりLDPE、HDPE、PP、PSとも二桁台の増加となった。前年比はLDPE、PSはプラス、HDPE、PPはマイナスとなるなど製品によって差が見られている。

分野別の出荷状況は、前年比で、フィルム等の包装材分野は、LDPE、PSはプラスとなるも、HDPE、PPはマイナスとなった。

包材以外の出荷分野では、LDPEはラミネート分野、電線被覆分野等がプラス、HDPEは中空成形分野のみがプラス、PPは射出成形分野、押出成形分野等がプラス、PSは電機・工業用、雑貨・産業用、FS分野ともにプラスとなった。

ハ) 輸出

中東情勢の悪化を受け、アジア域内でも供給不足感が高まりつつある。前月比でLDPE、HDPE、PP、PSともにプラス。前年比はLDPEのみマイナスだが、他の3樹脂はプラスとなった。

ニ) 在庫

在庫量は、前月に対して、LDPE、HDPE、PP、PSで大幅に減少した。在庫率(季節調整済)は、LDPE、HDPE、PP、PSで低下した。在庫水準としては、LDPEはやや高め、HDPEは高め、PPはほぼ適正となっている。

	前月対比増減量 (単位:トン)	季節調整済在庫率(単位:ヶ月)	
		2月末	3月末
LDPE	▲44,200	3.8	3.4
HDPE	▲31,100	4.3	3.6
P P	▲52,000	3.4	3.2
P S	▲10,200	1.9	1.7

以上